

- > 「地域包括ケアシステムについての取り組み」を
- > お聞かせくださいとの連絡がありました。
- > 取り組みと問題点を

先日のケア研でもお話したように

あくまでシステム構築の主体は市町村です。

市町村の「地域包括ケアシステム」作成には西部医師会として

積極的に協力はしますが、医師会自体が作るものではないと考えています。

「地域包括ケアシステム」の5つの要素のうち「在宅医療」について、住民からの要望（「ワシを看取ってごしないよ」と云われた時）に答えられるように医師会として取り組んでいると云うところでしょうか。

<医師会としての取り組み>

1. まず、現状把握が出来ているかどうか。
 - 在宅医療資源調査
 - 在宅医療ニーズ調査
2. 現状を把握したところで、何が問題なのかを明らかにする
3. 如何に関係者を巻き込んで、協議し行動するか

関係者

行政：市・町・村の行政担当レベル

市・町・村議員

住民：全体 or 自治会レベル

医師会全体、個々の開業医、病院、勤務医、、、

介護施設などの関連業種

「地域で安心して暮らし続けることが出来る」という言葉にもいろいろな解釈ができます。

西部での問題点

1. 関係者間での理解不足、共通認識の統一
2. 主体となるべき住民に地域包括システムについての意識・認識の無さ
3. 家族や特養・介護施設の「看取りの医療へ委託・丸投げ」問題。
4. 最終的に「何かあった際に誰が責任を取るのか」と云う質問に対して
明確な共通認識と、対策をとっておくこと。
ここをきちんと押さえておかないと「在宅医療」は進みません。

ex. デイサービス中の転倒骨折。(自宅で転倒の場合は?)

自宅で、朝起きたら、布団の中で亡くなっていた。トイレの前で亡くなっていた。

介護施設短期入所中に、朝起きたら、布団の中で亡くなっていた。

デイサービス中、昼食の際に誤嚥・窒息。

入浴中に突然死。

「何かあったら？」=>最終的には、予期せぬ「死」

「予期せぬ」ではなく、必ず起こる事として「死」をタブー視しないで

本人、家族(キーパーソンを必ず入れる)、医療介護関係者、皆で

事前に話し合っておく事。

何かあったらいけないからと、何もしないでベッドに寝かせている事は良いことか?

あくまで主人公は住民、高齢者。 主人公が望んでいることは何か?

<西部医師会のこれまでの取り組み>

1. 西部在宅ケア研究会

H12年の介護保険導入に際して、医療と介護の連携の充実を目指して活動

これまでに53回の「例会」(3~4回/年)、124回の世話人会(毎月)

ホームページ：<http://www2.sanmedia.or.jp/care/index.html> を参照

2. 西部在宅医療推進委員会

H23年度「地域医療再生基金」事業として県より補助をもらって活動。

H27年後末で事業を終了予定。

ホームページ：http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/0_home.html を参照

具体的には以下のプロジェクトを展開中

1. 在宅医療資源アンケート(開業医) …実施済み。

(米子医療センター分) …実施済み。HPにアップ。

医療関係者向け 在宅医療連携拠点事業

http://www.nho-yonago.jp/medical_info/zaitakuiryou

2. 在宅医療に取り組む診療所支援

●在宅医療支援診療所届け推進：マッチング事業

3. かかりつけ医支援（サポート医）
4. 「西部医師会在宅主治医・連携医調整室」設置事業
H27年10月開始予定
5. 「もしもの時のあんしん手帳」作成
http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/5_ansin.html
6. 公民館での在宅医療・在宅看取り講演会（出前講座） PPT ファイル作成
http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/4_demae.html
これまで21回の開催
7. 情報公開：「西部医師会在宅医療推進委員会」のホームページ作成
http://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/zaitaku/0_home.html
8. 自治体への取り組み
 - ・米子市の在宅医療フォーラム：
平成25年度（H26年1月26日（日）ふれあいの里）：<http://www.city.yonago.lg.jp/14698.htm>
平成26年度（H27年3月21日（祝）ふれあいの里）：<http://www.city.yonago.lg.jp/17310.htm>
平成27年度（H28年2月11日（祝）米子市文化ホール） 予定
9. 在宅医療関連の他職種研修会の開催
10. 博愛病院在宅医療プロジェクト支援
11. 鳥取大学在宅医療プロジェクト支援
<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/medical-welfare-support/15962.html>
12. その他：米子市内の包括支援センターをモデル的にシステム構築支援

◆その他

真誠会：地域医療再生拠点事業

<http://renkeikyoten.main.jp/jigyo.html>

米子医療C：地域医療再生拠点事業

http://www.nho-yonago.jp/medical_info/zaitakuiryou

鳥取大学医療連携協議会

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/medical-welfare-support/files/20042.pdf>

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/medical-welfare-support/1411/>

平成 27 年度 西部保健所

医療介護連携調整実証事業